

## 自衛官募集相談員を7人に委嘱

5月23日、自衛官募集相談員の委嘱式が行われました。今回7人に委嘱され、任期は平成32年3月31日まで。相談員は、募集ポスターの設置、入隊希望者の紹介、自衛隊への勧誘や激励・援助の支援など、自衛官募集に関する活動に取り組みます。



## 幻想的に乱舞するホタルを鑑賞

5月25日から27日と6月1日から3日の6日間、出の山ホタル恋まつりが開催されました。今年は1日で最大4000匹が飛翔し、市内外から延べ7004人が来場。期間中、保護のため立入禁止の遊歩道を開放し、訪れた人は幻想的に乱舞するホタルを間近で鑑賞しました。



## 「父の日に牛乳を贈ろう」

6月12日、市酪農青年女性連絡協議会が市長を訪問し、乳製品の消費拡大と酪農への理解醸成をPRしました。大山雅行会長らは、ホルスタイン柄の法被を着て新鮮な牛乳を贈呈。大山会長は「酪農を市内外へもっとアピールしていきます」と話していました。



## 東方中で被爆体験記の朗読会

6月18日、東方中で「被爆体験を語り継ぐ永遠の会」の熊本洋子さんと吉田祐子さんによる被爆体験記の朗読が行われました。長崎で被爆した人の体験記を写真などを交えながら朗読。「皆さんも、平和に対する思いをぜひ多くの人に語り継いでください」と訴えていました。



寄付金を渡す本坊取締役会長。いただいた寄付金は、小林的美しい水、素晴らしい自然を保全するための事業に活用します

## (株)C A B が100万円寄付 水資源の保全などに活用

6月7日、ミネラルウォーターの販売を行う(株)クリーン・アクア・ビバレッジが市に100万円を寄付しました。贈呈式で本坊修代表取締役会長は「今回で4回目の寄付となります。できる限りの貢献をすることが地元企業の責務です。地域発展のためにご活用ください」と話していました。



TENOSSEでは今後、定期的にビジネス支援のためのイベントを開催します。詳しくは (tel.27-4711) まで

## TENOSSEで1stイベント ビジネス支援セミナー実施

6月9日、小林市コワーキングスペースTENOSSEで1stイベントを開催しました。イベントでは、クラウドファンディングやITサービスの活用法などのビジネス支援セミナーを実施。その後、来場者の投票によるロゴの最終選考会も行われ、静岡県在住の天野穂積さんの作品が選ばれました。

## 看護師などを地元 看護師等養成所連絡会を開催

5月31日、西諸地域看護師等養成所連絡会が小林看護医療専門学校で開催されました。小林准看護学校などの紹介、小林看護医療専門学校の看護師国家試験合格100名などの実績を報告。看護師などの確保に向けて取り組んでいる人材育成や地元定着促進などについて意見が交わされました。



会には、西諸医師会、2市1町の教育長、学校長などが出席。現状や今後の対策について情報交換が行われました

## 豊富な行政経験を市政発展に 壺岐秀彦副市長が就任

6月2日、壺岐秀彦副市長に辞令が交付され、同4日、市役所で就任式が行われました。壺岐副市長は「県での行政経験を活かし、さまざまな施策が進展するようサポート役としての役割を果たしたい。職員とともに市政の発展のため誠心誠意取り組んでいきます」と抱負を語りました。



壺岐副市長は平成3年に宮崎県庁へ入庁し、さまざまな部署で活躍。宮原市長の補佐役として市政発展に努めます



約3300人が来場し会場には長蛇の列。郵便局の臨時受付も設置され、大量に購入し贈答品として発送する人も多くみられました

## 甘い果実を求めて長蛇の列 メロン・マンゴージェア

5月26日、第7回メロン・マンゴージェアがのじりこぴあで開催されました。市場価格よりも安価で、みやざきブランド「めろめろメロン」とタカミメロン、「太陽のタマゴ」を含む完熟マンゴーを販売。メロン約1万3000個、マンゴー約4000個が売り切れる盛況となりました。



左から倉田富夫理事、吉丸政志副会長、岩屋さん、中嶋信行理事。いただいた寄付金は、地域福祉の質の向上のために活用します

## 温かい心を福祉事業のために (株)丸岩産業が300万円寄付

5月29日、食肉卸業の(株)丸岩産業が市社会福祉協議会に300万円を寄付しました。同社は今回を含め計5回、950万円の寄付となります。社会福祉センターで行われた贈呈式で同社の岩屋敬さんは「市の社会福祉事業に役立てていただければ幸いです」と話していました。



春の叙勲で旭日双光章を受章  
 (株)小林青果市場 代表取締役会長  
 うえき きよふみ  
**植木 清文さん (70)**



④全てのセリの状況を確認する清文さん。⑤セリ直前の青果市場。市内外の生産者が作った野菜や果物、生花が並べられている。⑥社長で長男の毅さん(写真中央)。清文さんのことをたずねると「父は几帳面。わたしにはできないな」と話す。

朝7時、朝の澄んだ空気の中、みずみずしい青果物の香りで満たされた小林青果市場に、競り人の活気のある声が響き渡る。そこに、取引先や生産者から「気持ちを忘れないし、困ったときに頼りになる」と慕われている人がいる。

小林青果市場代表取締役会長の植木清文さん、70歳。今年、春の叙勲で県青果市場連合会副会長、小林商工会議所副会頭歴任の功績が認められ、旭日双光章を受章した。

植木さんは、21歳のときに小林青果市場で働き始め、42歳で社長に就任した。「社長になったときは右往左往した。でも西諸の台所を預かっているという自負を持って、助け合いながら仕事をしてきた」。

54歳から務めた県青果市場連合会副会長のとき、青果物の取引状況が当日に確認できるインターネット環境の整備や効率的な物流システムの構築に取り組んだ。これにより、消費者は新鮮な商品が手に入り、生

産者は経費削減に繋がるなどの効果を生み出した。「小林青果市場は、小林町から小林市になった昭和25年に創業しました。これだけ長く仕事が続けられたのも、地域の人たちのおかげ。感謝しています」。

生産者との連携を深める座談会の開催や意識の共有など、仕事に対する情熱や地域に対する気持ちは誰よりも強い。感謝の心を常に卓を支え続ける。生産者の気持ちとともに。

西諸の台所を預かっている  
 という自負はある。  
 みんなのおかげで今がある。

小林  
 こばやしびと  
 Vol.78

## 「泣くことよりも笑うことを」 認知症研修会を開催

6月15日、認知症研修会が市文化会館で開催されました。認知症の家族を持つ人や福祉関係職員など約200人が来場。認知症当事者の正司園龍夫さんと妻由美子さんが講演し、由美子さんは「認知症を受け入れるまで葛藤があったが、泣くことよりも笑うことを多くするように心掛けている」と話していました。



宮原市長を会長とした実行委員会。今後は、広報活動や保健医療、宿泊施設の確保などに向けて走り出します



写真右から由美子さん、龍夫さん。講演後には、バンド演奏を披露。演奏が終わると客席から大きな拍手が起こっていました

## 来年のインターハイに向け 実行委員会が本格始動

6月12日、来年7月に南九州4県(宮崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県)で開催される全国高校総合体育大会に向けて、市実行委員会の設立総会を開催しました。市では女子バレーボール競技の予選が行われる予定。総会では、役員体制や予算、今後の動きなどが話し合われました。

## 取り組みを紹介します

### きずな協働体 今月は、須木地区

#### 新体制にて須木地域の活性化に取り組みます!

すきむらづくり協議会は平成26年11月に設立して3年が経過しました。年々、活動の幅が広がり、専門部会を中心に地域を盛り上げる取り組みを行ってまいりました。

新年度は、これまで5つの専門部会で活動していましたが、持続可能で効率的な活動を目的に3つの専門部会へ組織の再

編を図りスタートしました。

これまで取り組んできた活動をさらに広げていき、マイペースに須木地域のまちづくりを目指してまいります。そして、オール須木で地域活性化や課題解決に向けた、須木区域ならではの取り組みを行っていききたいと思います。



名物の左近太郎!  
 2年に1度の運動会で大盛り上がりです!!



すきむらづくり協議会  
 片之坂 ふみ子 副会長